

# ボランティア

# Volunteer

VOL.132

わたしたちイエス団の實踐は、  
1909年12月24日の賀川豊彦の献身に始  
り、そして、イエスの愛に倣い、  
互いに仕えあい、社会と闘い、  
新しい社会を目指して  
多くの協働者とともに今日まで歩み続けてきた。  
この歴史を確証し、働きを引き継ぎ、  
今、わたしたちはイエスに倣って生きる。

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす  
わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす  
わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす  
わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす  
わたしたちは、平和をつくりだす

2009年12月24日  
社会福祉法人イエス団  
子会法人イエス団

## 2022年度 事業報告

## 2023年度 事業計画

ボランティア 第132号



発行 2023年7月31日  
発行所 社会福祉法人イエス団賀川記念館  
発行者 馬場一郎

社会福祉法人イエス団賀川記念館  
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通5-2-20  
Tel 078-221-3627 Fax 078-221-0810  
E-mail office@core100.net  
HP <http://core100.net>



### 賛助会費・寄付金のお願ひ

賀川記念館の事業は皆様によって支えられています。

賛助会費・寄付金を下さった方には寄附控除制度が適用されます。

#### 賛助会費

【個人】 一口 1,000円より

【団体】 一口 10,000円より

#### 寄付金

何円からでも可能

振込先

【ゆうちょ銀行】 口座番号：01140-8-3721 社会福祉法人イエス団賀川記念館

賀川記念館は以下の事業を行っています。

- ①地域福祉事業（天国屋カフェ／外国にルーツをもつ子どものための学習支援教室「はいず」／その他）
- ②福祉教育事業（ミュージアム／総合研究所）

## 2022 年度事業報告

いつも賀川記念館の活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。ありがとうございました。

二〇二二年もみなさまのお支えのもと、歩みを進めることができました。さまざまな形でお支えいただいたことを感謝いたします。

### 【地域福祉事業】

#### ●天国屋カフェ

ようやくテーブルのパーテーションを外すことができました。コロナウイルスの影響もあり、ナイトカフェの再開はできませんでした。少しずつ活動を再開していきたいと思っています。コロナ禍で行っていた「お弁当プロジェクト」はニーズの変化から、二〇二三年三月をもって終了いたしました。多くのお会いに感謝しつつ、与えられたつながりを生かしさらなる活動に繋がっていきたいと思います。

資金面ではアメリカの教会による寄付プロジェクト(グローバルミニストーリー ADVANCE Project)をはじめ、多くの方からの寄付をいただいています。この寄付金は天国屋カフェで行っている就労支援活動などに使用させていただきます。感謝いたします。

●外国にルーツをもつ子どもの学習支援 はいず

コロナ禍の影響もうけ来日時期が

ずれた家庭が多くあります。はいずでも、高学年で来日する児童が増え、日本語を一から学ぶ子どもたちが増えています。ボランティアが子どもと向き合いつつ、日本語をはじめとする学習支援を進めています。日本で育った子どもも、文章問題や専門用語などの「学習言語」の習得には苦労している様子もあります。日本語の学習はもちろん、「はいず」が子どもたちの居場所となることを願いながら支援をしています。

長く関わってくださったボランティアの卒業がありました。これまで関わってくださったことに感謝し、今後の活躍をお祈りしています。

### 【福祉教育事業】

二〇二〇年度より行っている、小学校四年生を対象した学習講演会や賀川豊彦作文コンクールを行うことができました。学習講演会では、二四校一六七三名の子どもたちに話をすることができました。作文コンクールは昨年度よりも応募数が増え、二七校八四五作品の応募をいただきました。どの作品も珠玉の作品でした。

労働組合関係、生活協同組合関係からの研修、講演会依頼も多くなりました。同時に、「第四回隣保事業全国研究交流大会」など、賀川記念館の地域福祉活動についても発

表する場が多く与えられた年でもありました。一九〇九年一月二四日の賀川豊彦の献身より始められた地域福祉の活動が今日まで続けられていることを伝えてまいりたいと思います。

また、外部からの研修・講演会に加え、法人内の研修会の中で賀川豊彦、賀川記念館の取り組みについて話す機会もいただきました。法人のフラッグシップを担う事業所としての取り組みを続けていきたいと存じます。

今後も、法人内外に賀川豊彦の働きや賀川記念館の働きを知っていただけるように活動を続けてまいります。



中央小学校の4年生が来館。地域の働きとしての賀川記念館を説明しました。

### 講演会・研修会のご案内

当館では研修会及び講演会などのご依頼をお受けいたします。

◎当館の研修は、「賀川豊彦の思想と実践」、「賀川記念館（イエス団）における社会福祉実践」、「現代社会における福祉課題」、「人権」など、ご希望に合わせた研修を実施させていただいております。お気軽にお声かけください。

# 2022 年度のあゆみ

## 2022 年度講演会・研修会・見学（敬称略）

- 4月6日 阪急電鉄労働組合
- 4月8日 阪急電鉄労働組合宝塚線
- 4月19日 阪急電鉄労働組合二団体
- 4月25日 JEC 連合
- 5月8日 全労済神奈川推進本部
- 5月21日 関西学院大学神学部
- 5月27日 大阪大学
- 5月29日 こくみん共済愛知推進本部
- 6月12日 コープこうべ第一地区本部
- 6月28日 協同学苑
- 7月6日 コープこうべ龍野コープ委員会
- 7月20日 和歌山県生協連
- 8月16日 全国キリスト教学校人権教育セミナー
- 8月24日 吾妻地区幼小中合同研修会
- 9月6日 コープこうべ第三地区本部
- 9月7日 龍谷大学
- 10月1日 MSC 労組
- 10月5日 こくみん共済関東推進本部
- 10月8日 生協労連関西地方連合会青年部会
- 10月8日 賀川記念館内職員研修
- 10月19日 こくみん共済関東統括本部
- 10月26日 こくみん共済関東統括本部
- 10月27日 JP 共済生協関東統括部
- 11月1日 甲南大学
- 11月2日 こくみん共済関東統括本部
- 11月4日 こくみん共済関東統括本部
- 11月5日 吉野川市こだま会館
- 11月9日 こくみん共済関東推進本部
- 11月10日 ひょうご部落解放・人権研究所
- 11月10日 賀川ハル特別展記念講演会
- 11月16日 こくみん共済関東統括本部
- 11月22日 こくみん共済中央推進本部
- 11月23日 こくみん共済関東統括本部
- 11月26日 大阪医療生協かわち野生活協同組合
- 11月26日 隣保事業全国研究交流大会
- 11月26日 パナソニック労組
- 11月27日 JAM 徳島地区協議会
- 11月30日 こくみん共済関東統括本部
- 12月7日 こくみん共済関東統括本部
- 12月8日 徳島県隣保館協議会
- 12月9日 神戸学院大学
- 12月14日 こくみん共済関東統括本部
- 12月17日 パナソニック労組加西支部
- 12月25日 鳴門市立賀川豊彦記念館
- 1月7日 頌栄短期大学専攻科
- 1月25日 全労済本部
- 1月27日 ひょうご部落解放・人権研究所
- 2月2日 市民生活協同組合ならコープ
- 2月4日 日本電気労組
- 2月16日 ろっこう医療生協
- 2月21日 神戸 YMCA 職員研修
- 2月22日 日本郵政グループ
- 2月24日 静岡県磐田地区労福協
- 2月26日 ひょうご部落解放人権研究所
- 3月2日 大東市人権推進連絡会
- 3月16日 吉野川市西朝植会館
- 3月18日 友愛幼児園職員研修
- 3月21日 こくみん共済佐賀推進本部
- 3月22日 イエス団新任研修
- 3月23日 イエス団新任研修
- 3月26日 パルシステム東京労働組合
- 3月28日 虹友会

## 2022 年度小学校学習講演会

- 7月14日 湊小学校
- 9月15日 若草小学校
- 10月20日 花山小学校
- 10月25日 筑紫が丘小学校
- 10月26日 平野小学校（見学）
- 11月2日 中央小学校
- 11月4日 港島学園
- 11月21日 名谷小学校
- 12月1日 多井畑小学校
- 12月5日 高丸小学校
- 12月7日 八多小学校
- 12月8日 若宮小学校
- 12月8日 上筒井小学校
- 12月9日 神戸祇園小学校
- 12月9日 藍那小学校
- 12月12日 藤原台小学校
- 12月14日 雲中小学校
- 12月15日 こうべ小学校
- 12月15日 多聞台小学校
- 12月16日 和田岬小学校
- 12月19日 高津橋小学校
- 12月20日 宮本小学校
- 1月19日 桜の宮小学校
- 1月24日 東須磨小学校
- 2月3日 真陽小学校

## 2022 年度ミュージアム来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	48	63	53	53	37	26	26	90	37	32	37	38	540
子ども	21	13	2	4	6	4	1	2	10	10	3	5	81
団体	47	0	60	13	3	11	6	39	0	33	0	34	246
計	116	76	115	70	46	41	33	131	47	75	40	77	867

## 賛助会費・寄付金のお礼

個人（賛助会費）：251 件 個人（寄付金）：43 件  
 団体（賛助会費）：31 件 団体（寄付金）：26 件 より  
 5,218,463 円 のご支援をいただきました。

感謝を持ってご報告させていただきます。

## はいず 支援感謝

2022 年度、はいずは以下の助成金によって活動を行いました。

- 神戸市中央区社会福祉協議会  
共同募金配分金助成事業（老祥記：豚まん募金）



- 中央共同募金会

外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

新型コロナウイルス感染下における  
 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成  
 三菱財団 × 中央共同募金会

# 2023 年度事業計画

## 2023 年度事業計画について

館長 馬場一郎

賀川記念館は、事業の大きな柱を①地域福祉事業、②福祉教育事業としています。そして地域福祉事業のコンセプトに「居場所」と「多様性」を掲げ、福祉教育事業では「生きる力」を伝えることができるように考え、実践しています。

初代賀川記念館は 1963 年に設立しましたが、その開設の過程において、賀川豊彦自身から、「ただ単に賀川を回想し、記念品を陳列する建物は要らない」という趣旨の意思表示があったと言われています。そのこともあり、初代賀川記念館は友愛幼稚園と学童保育、後は地域福祉活動を行うスペースしかありませんでした。まさしく福祉の実践の場であったわけです。2009 年賀川豊彦献身 100 年記念事業として建て替えを行った際、多くの議論を経て現在のミュージアムや研究所スペースがつけられました。

これまでの歴史、そしてこれからのことを踏まえ、賀川記念館は賀川の言う実践の場であり続けるとともに、賀川を顕彰するのではなく、賀川の実践を通して「生きる力」を伝えていくことを願い、事業を進めていきたいと思えます。過去を賛美するためではなく、これから生きる子どもたち、人々のために何ができるかを考え、継続した取り組みを行っていきます。特に地域福祉においては、これからも制度としての事業ではなく、制度の狭間で苦しむ人々のための支援ができる取り組みを模索していきたいと考えています。

2023 年度から、「くじらぐも」が地域に出て事業を再スタートしました。地域に出ることによってわかる子どもたちの現状を知り、賀川記念館のくじらぐもとして、地域福祉活動を行っていきたい。子どもたちの現実に寄り添い、制度では解決できない課題に対して、地域や学校と協力しながら、解決の糸口を探っていきたく思います。また、現在の建物が建築され 14 年目になります。経年劣化してきている個所も散見されます。今後は建物のメンテナンスが必要であり、ミュージアムの設備にも不具合が出てきています。それら必ず必要となる費用の捻出が大変重要な課題です。そのためには財政的にも修繕費や設備費を確保していかなければなりません。みなさまのご理解・ご支援をいただきますようお願いいたします。



「はいず」の学習の様子

## 隣保（地域福祉）事業

### 【天国屋カフェ】

1. 地域のコミュニティ拠点として開かれたカフェ運営を目指します。地域の課題をキャッチする拠点としての働きを目指します。また、天国屋カフェが多様な居場所となれるよう、「居場所」について考える機会を設けます。
2. 近隣の NPO 法人と協力しながら就労継続支援 B 型事業の受け入れ先を継続していくと共に、独自の就労支援実施の体制を固めていきます。
3. ナイトカフェに代わるイベントを企画、実施します。
4. 職員とボランティアスタッフによる運営会議を中心に、将来を見越した運営体制の検討を行います。天国屋カフェの収益を見つめつつ、安定して運営できる仕組みを作ります。

### 【外国にルーツをもつ子どもの学習支援 はいず】

1. はいずが開設され、10 年が経過し、さまざまな変化があります。派遣講師と協力しながら、将来を見越した体制づくりを模索します。
2. 社会福祉協議会ボランティアセンターや近隣大学との密な連携を図りつつ、安定してボランティアが確保します。
3. 安定した資金運営を確保するために助成金活用や新たな資金確保の仕組みを作ります。

### 【その他】

コロナ禍で中断していた吾妻地域福祉ネットワーク会議を再開し、地域のネットワークを再構築します。

## 多機能型児童発達支援・賀川記念館くじらぐも

### 1. 「賀川記念館くじらぐも」として再スタートする

くじらぐもはもともと賀川記念館事業としてスタートした歴史があります。そのルーツを引き継ぎつつ新たなニーズにも対応できるよう、賀川記念館の一員として再スタートしたいと思っています。場所は離れましたが、より地域に住む子どもたちのために、できることを考え連携していきたいと思っています。

### 2. 新しい場所を楽しく子どもたちが過ごせる場所にする

この4月から「賀川記念館くじらぐも」は新しい場所での活動をスタートしました。

今までの場所に慣れていた子どもたちも、また新しく通う子どもたちも、『居場所』としてくじらぐもに通えるように、楽しく過ごせるような場所を作りたいと思います。まず今年度はその下地を整える大切な年度だと感じています。

### 3. 関係機関・地域とつながる事業所となる

くじらぐもは地域の学校や、関係機関、様々な場所とのつながりを大切にしたいという思いで活動してきました。新たな場所での活動を通して、より「賀川記念館くじらぐも」を知ってもらうためにSNSなどを使い発信していきます。地域の人たちと一緒に子どもたちの生活を支えていくためにも、まずは今年度、近隣の人たちと顔見知りになることを目指します！



賀川記念館くじらぐも 開所祝福式

## 福祉教育事業

### 1. オンラインセミナーの開催

現在日本には次の5つの賀川豊彦の記念館及び資料館があります。松沢資料館（東京都世田谷区）、本所賀川記念館（東京都墨田区）、賀川記念館（神戸市）、協同学苑史料館（三木市）、鳴門市賀川豊彦記念館（鳴門市）です。

これら5館が連携して、それぞれの館の賀川豊彦とのつながりや展示内容など各館の特徴、賀川豊彦にまつわる周辺のおすすめスポットなどを伝えるなど、賀川豊彦を深く知っていただけるオンラインセミナーを開催します。

### 2. 神戸市小学校4年生学習支援事業

(1) 4年目を迎える学習講演会の依頼が29校（66クラス）からきており（6月末現在）、語り部の皆さんから分かりやすい学習を提供します。

(2) 3回目を迎える神戸市・神戸市教育委員会後援の「賀川豊彦作文コンクール」を開催し、子どもたちが作文を書く学習を広めます。

### 3. 生活協同組合の組合員・役職員向け学習講演会

コロナ対応が緩和され、生協関係からの講演、見学依頼が増えてきています。改めてカリキュラムを検討するとともに、コンテンツを作成し、協同組合の父である賀川豊彦の思想と実践の学習を支援します。

### 4. 資料の編纂

1. 1927年に開催された第3回農民福音学校の筆記録を現代仮名遣いに改訂し、出版に向け作業を進めます。

2. 1936年アメリカで出版された「Tree Trumpets Sound」（20世紀の三大聖人）の日本語訳を進めます。

### 5. 機材の更新

ミュージアムの設備機材の老朽化が進んでおり、引き続き機材の更新を随時行います。



## 天国屋カフェ アフタヌーンライブ開催

2023年4月15日に天国屋カフェで「天国屋カフェアフタヌーンライブ」が開催しました。出演者は「NarcolepsyDriver」「加納浩美」、「Birth コウノトリ」(NPO 法人 Birth 神戸に繋がりのあるみなさん)のみなさんでした。賀川記念館のホールに40名近いお客さんが集まり、音楽を楽しみました。

天国屋カフェでは、これまで月に1回、夜のイベントとして、「ナイトカフェ」を開催してきました。ナイトカフェでは、飲食のみならず、音楽の発表会なども同時に催され大きな賑わいを見せました。しかし、コロナ禍にあって中止を余儀なくされました。多くの方からナイトカフェの再開を求める声もいただいてきましたが、これまで開催できずにいました。

2023年度からは以前のような大規模なイベントではなく、昼の時間に小さなイベントを行うことを考えました。そしてこの度、「アフタヌーンライブ」として昼間に音楽を通したイベントを開催することにしました。

会場に集まった多くの人から笑顔が見られ、楽しい時となりました。今後もできることを少しずつやっていきたいと思えます。出演いただける方も募集しています。



## 神戸 NGO 協議会

賀川記念館は「神戸 NGO 協議会」に参加しています。神戸 YMCA、神戸 YWCA、PHD 協会、神戸学生青年センター、賀川記念館の5つの団体が緩やかなネットワークを築いています。職員同士が交流し、課題を共有し、必要な時に助け合う緩やかなネットワークです。

コロナの影響で長らく実施ができていませんでしたが、この度久しぶりの実施ができました。担当者が賀川記念館に集まり、このコロナ禍の活動を報告し、その後交流しました。各団体で連携をとりながら日々の活動を進めています。

## ボランティアのご案内

当館の活動は皆様のご支援により成り立っております。賛助会費や寄付金によるご支援はもとより、多くのボランティアさんにお助けいただいております。感謝申し上げます。

現在「天国屋カフェでの運営スタッフ」、「はいるの学習支援ボランティア」「ミュージアムの軽作業」などはボランティアさんにお手伝いいただいております。常時ご支援やボランティアを募集しております。

お気軽にお問い合わせください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 賀川豊彦召天 63 周年記念集会

2023年4月22日に「賀川豊彦召天63周年記念集会」を開催しました。賀川豊彦は1960年4月23日に天へ召されました。賀川豊彦の働きを覚え、礼拝形式の集会を行いました。

コロナ禍で開催ができていなかったため、3年ぶりの開催となりました。西義人さん（賀川記念館顧問）より「賀川豊彦の精神と実践」と題して講演を聞きました。賀川豊彦の生涯や実践について、賀川が興した様々な活動が現在の日本の社会の基礎を作ったことを丁寧にお話してくださいました。西義人さんのお話をききながら、賀川豊彦の働きに思いを馳せました。「賀川豊彦が現在生きていたら何を言い、何をしていたのか」という問いかけがあり、考えさせられる時間となりました。



## コア100賀川

「コア100賀川」という集まりがあります。賀川豊彦にゆかりのある団体が集まり、緩やかなネットワークを築きながら連携を深めるという趣旨の集まりです。「賀川豊彦献身100年記念事業」が2009年に開催されました。開催には賀川豊彦ゆかりの企業や団体が実行委員として加わり、大規模な記念事業を行いました。その実行委員が継続したネットワークを築き、「コア100賀川」として、継続して交流の時を持っています。

この3年間、コロナ禍で集まれませんでした。この度開催することができました。現在のメンバーは、共栄火災海上保険株式会社、近畿労働金庫、社会福祉法人神戸YMCA福祉会、市民生活協同組合ならコープ、生活協同組合コープこうべ、こくみん共済coop兵庫推進本部、兵庫県漁業協同組合連合会、JA兵庫中央会、賀川記念館です（敬称略／順不同）。

担当者が賀川記念館に集まり、近況報告などをしながら親睦の時を持ちました。

### 【お詫びと訂正】

前号の『ボランティア』（131号）の6ページに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。申し訳ありません。

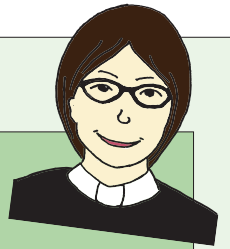
＜賀川記念館くじらぐものご案内＞

誤 神戸市中央区日暮通3丁目 → 正 神戸市中央区日暮通2丁目

誤 078-200-5383 → 正 078-200-5838

＜映画上映会を実施しました＞

誤 『ちむりぐさ』 → 正 ちむぐりさ



ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。

コリントの信徒への手紙Ⅱ 12:9

## 賀

川記念館の窓辺に「はなきりん」というトウダイグサ科の植木がある。亡くなられた神戸イエス団教の教会員より生前に教会へ寄贈された。茎が多肉でトゲがびっしり生えている。詩人の星野富弘さんがはなきりんの詩を書いている。「花と棘が同じ所から生えている／やがて花は散り棘が残る／何だかわたしの心のように／胸の奥がチクリと痛い」人間の心の奥深いところに潜んでいる悩みや罪や悪い思いが、どうしても取り去られることがないと言いたいのかもしれない。

使徒パウロは、神と人の前で思い上がらないようにと神から一つのトゲが与えられたと告白する。彼は、体の不自由さや病（やまい）に相当苦しんだと言われている。それをトゲと表現する。だから、何度も「トゲ」が取り去られるようにと祈った。しかし聞き届けられなかった。神は薄情なのか。そうではなく「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」とパウロに語ったという。

トゲが取り除かれることのない苦しみの中に恵みがあるというのか。神の偉大な恵みはトゲの苦しみをも覆い隠すのだ。そこに注目した星野富弘さんも体が不自由なままに、花々を通して神のなさる大きな働きに気づいていかれ、花の絵と詩を添えて人々を励まし慰める力を与えられたのだろう。

ご来館の際には、窓辺のはなきりんもご覧になってください。(C)

## とっておき

# 天国屋カフェのレシピ



## ピビンパップ

今回の具材には、3種のナムル（ニンジン、ホウレンソウ、豆もやし）と豚肉の甘辛炒めを使用しました。最後に温泉卵をトッピングします。ナムルは醤油、ごま油、砂糖、ごま油などで材料を和えます。それぞれの材料で味加減をします。

### <例>

- 豚肉の甘辛炒め  
砂糖、しょうゆ、酒、オイスターソース
- 3種のナムル
  - ・ニンジンのナムル  
ごま油、塩、砂糖
  - ・ホウレンソウのナムル  
ごま油、塩、砂糖、オイスターソース
  - ・豆もやしのナムル  
ごま油、砂糖、塩

普通は「ビビンバ」といわれる韓国料理です。多文化まちづくりの会の全玉さんから教えてもらった料理です。「混ぜご飯」という意味だそうです。「数種のおかずをよく混ぜてから食べてください」とのことでした。

5種類の彩りよいナムルなどを美しく盛り合わせます。全さんは目玉焼きを乗せておられました。(い)

## ◎編集後記

二〇二二年度もみなさまのお支えの元、無事に活動を終えられた。感謝である。日々社会のあり方が変化している。その中にある人も、社会の中で「生きづらさ」を抱えた人と共に生きる実践を続けていきたいと願う。これは賀川豊彦献身以来大切にしてきたことである。▼賀川豊彦は賀川記念館を建てる際に「自分を顕彰する建物はいらない。」と強く反対したという。自分を顕彰するのではなく、地域に仕える実践を望んでいた。以後、賀川記念館は賀川という言葉を大切にしつつ、地域の人々、特に生きづらさを抱えた人と「共に生きる」実践を続けてきた。▼二〇〇九年からは地域福祉の実践に加え、賀川豊彦の精神と実践を伝えるミュージアムも開設した。現在では労働組合や生活協同組合を中心とした研修の場所としても用いられている。また、二〇二〇年からは神戸市の小学校四年生の副読本（社会科）に賀川豊彦が掲載された。「共に生きる社会」という単元テーマのもと、賀川豊彦の生涯から「共に生きる社会」とは何かを考えている。賀川記念館としても学習講演会などを通して学びの手助けを続けている。▼「イエス団のミッションステートメント二〇〇九」にはイエス団が目指す五つの社会が描かれている。この五つの社会はまさに、「共に生きる社会」である。そしてこの社会をつくりだす実践が賀川記念館には求められている。「共に生きる社会」の実現に向けて、実践と発信を続けていきたい。(お)